

平成31年度 徳島県立徳島北高等学校 学校評価計画

1 本校の学校経営の基本方針

生徒がはつらつと活動する活力ある学校づくりと保護者・地域社会から信頼される学校づくりに取り組み、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を身に付けることができる教育の実現に努める。

2 本年度の重点目標

- (1) 自ら学ぶ姿勢と自主的・自律的な行動力を育成する。
- (2) 人権を尊重する豊かな心を育成し、好ましい人間関係を築かせる。
- (3) 授業の工夫・改善と充実に努め、確かな学力を身に付けさせる。
- (4) 生徒一人一人の個性や創造性を伸ばさせて、進路希望の実現をめざす。
- (5) 国際的視野を持ち、地域社会に貢献できる人材を育成する。

3 本年度の各課・各学年・各教科の取組

ア 企画課

* 総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		学校関係者評価	次年度への課題と方策
1 総合的な学習（探究）の時間の充実を図る。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①アンケートを実施し、探究活動が生徒にとって充実したものであったか、当初の目的が達成されたかを見る。「充実した」あるいは「満足している」の回答が90%以上である。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
2 授業での効果的なICT活用を推進するとともに、アクティブラーニング型授業を取り入れ授業改善を図る。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①ICTを活用した授業が70%以上である。 ②「ICT機器を使った授業は、あなたの興味・関心を高めている」と回答した生徒の割合が80%以上である。 ③「ICT機器を使った授業は、あなたの理解を深めている」と回答した生徒の割合が80%以上である。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	①授業参観週間等で、効果的なICT機器の活用を研究する。 ②ICT機器を活用した指導事例を、各教科で作成する。 ③座席の配置を工夫しペアワークやグループワークがしやすい環境を整える。				

イ 総務課

* 総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		学校関係者評価	次年度への課題と方策
1 PTA行事を精選し、内容を充実させることにより活性化させる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①生徒の新しい時代を生き抜く力の育成を支援するために、保護者に有効な情報を提供できた。 ②学校評価アンケートの、「PTA行事の趣旨説明や活動についての連絡は適切である」について「適切であった」と回答した保護者の割合が70%以上である。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		

	①保護者に有効な情報を、ホームページ等において知らせる。 ②PTA役員の負担軽減のために、PTA役員関連の行事の見直しを図る。				
--	--	--	--	--	--

ウ 教務・情報課

* 総合評価：目標を大きく達成…A, 概ね目標を達成…B, 目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評 価		学校関係者評価	次年度への課題と方策
1 生徒の多様な進路目標の実現につながる教育課程を編成することで、主体的に学ぶ意欲・態度を育成する。	評価指標 ①本校の教育課程について、「生徒の進路目標に対応し、個性を伸ばし将来の希望を実現できるよう工夫されている」と回答した割合が80%以上である。 ②教育課程検討委員会、職員会議等の開催回数を学期に1回以上確保する。 ③教科会の開催回数を月に1回以上確保する。 活動計画 ①各学年や各課と連携し、生徒の学力や進路希望調査等を分析し、可能な範囲で履修学年や開設科目・履修単位数を見直す。 ②教育課程や大学入学共通テスト等に関する情報提供・交換や共通理解を図り、生徒の実態把握に努め、適正な教育課程を編成する。	評価指標による達成度	総合評価		
			(評定)		
			(所見)		
2 生徒の目標を明確にさせ、主体的に学ぶ姿勢を育成することで、学習意欲の向上や学力向上を図る。	評価指標 ①教員において、「教科指導における基礎基本の徹底を図っている」と回答した者及び「学習意欲の向上や学力向上への取り組みができています」と回答した割合が95%以上である。 ②各定期考査において、欠点保持者数が10%以下である。 ③各定期考査において、成績優秀者（80点以上）の割合が、25%以上である。 活動計画 ①研究授業週間を設けて（年間2回）、各教科における目標や効果的な指導方法等についての研究を行う。その際、授業評価を行うことで、指導方法の工夫や授業力の向上に努めるとともに、本校生徒の実態や課題について共通理解を図る機会を確保する。 ②各学期末考査前に「弱点教科補強指導講座」を開講し、苦手科目についてのポイントを指導することで、家庭学習の援助を行う。また長期休業中に「基礎学力養成講座」を開講し、基礎基本の定着に焦点を絞り、苦手科目の克服への援助を行うことで、欠点保持者数を減少させる。 ③集会等の機会を捉え、継続的な学習及び意欲の向上についての啓発を行う。	評価指標による達成度	総合評価		
			(評定)		
			(所見)		
3 生徒が明確な目標を持ち、主体的に学ぶ態度の育成ができる学習環境づくりや学校運営を行う。	評価指標 ①年間行事計画を見直し、生徒の進路目標等、生徒理解が可能なように年間3回の面接週間を確保する。 ②1・2年の年間授業時数が法定時数の85%以上である。	評価指標による達成度	総合評価		
			(評定)		

			(所見)		
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①面接週間をはじめ、担任等が十分生徒理解に努められるよう、行事の見直しや校務の精選、学校支援システムの研究に努める。 ②各課・学年等と連携を図り、日程等を調整することで、授業時数確保に努める。また、月曜日の授業については、特別時間割に組み込むなどバランスをとる。				
4 学校支援システムの適正運用に努める。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①期限までの出欠入力率が100%である。 ②期限までの学事処理率が100%である。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	①1週間単位で出欠未入力を連絡する。 ②入力方法についての研修や案内をテスト時や期末に必要なに応じて行う。				

エ 国際交流課

* 総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価	学校関係者評価	次年度への課題と方策
1 国際交流に積極的に取り組み、グローバルマインドを持った生徒を育てる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①アンケートにおいて「国際交流関連事業は、グローバルな視野の育成や異文化理解に役立っている」と回答した生徒が60%以上である。		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①外部講師等を招いて、グローバルな視点で社会事象を捉えたり、発信したりする。 ②海外学生等を受け入れ、国際英語科、普通科ともに異文化を学ぶ。 ③海外高校生とのICT交流を通して異文化理解を深める。			
2 異文化の中で生活できる機会を提供する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①海外研修（語学研修・派遣を含む）の参加者が「満足した」と答える生徒が90%以上である。		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①より安全にプログラムを遂行するために、現地との連携や情報収集に努める。 ②海外研修の説明会など情報提供を充実させる。 ③事前指導を3回以上実施し、より充実した体験ができるよう準備する。			

オ 図書課

* 総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価	学校関係者評価	次年度への課題と方策
1 図書館の利用をとおして、学力の基盤となる読書	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	

習慣の育成を図り、将来にわたって主体的に学ぶ態度や読書を楽しむ態度を身につけさせる。	①一人当たりの図書館の年間利用回数が、8.0回程度である。 ②授業での図書館利用が、80回程度である。 ③各教科や総合的な学習（探究）の時間に、図書館を利用した授業や図書館の本を活用した授業を推進する働きかけを学期に1回する。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	①(7)各生徒の進路に応じて読んでおくべき本や、楽しめたり、教養を養える本を充実させ、「図書館だより」・「新着図書案内」や館内・館外掲示で広報する。また、各テーマの企画展示や特集など、わかりやすい館内・館外展示を工夫する。 ①(4)ホームページに掲載できる情報は提供し、より多くの生徒達に学校図書館に関心を持ってもらう。 ①(4)ビブリオバトルや読書会、図書館展示等の図書課や図書委員会主催の企画を広報し、多くの人に参加してもらったり、来館してもらう。 ②(7)各教科の先生方に、授業に活用したい本や生徒に読ませたい本の購入希望図書カードを配付して、図書の利用の推進を図る。 ②(4)図書館を利用した授業を、国語科・総合的な学習（探究）の時間をはじめ各教科と連携して、読書活動や調べ学習を推進する。 ③(7)図書館の利用状況、貸出状況を「図書館だより」等で先生方や生徒に適宜知らせて読書活動の活性化を図る。 ③(4)貸出の少ないクラスには、各方面から働きかけ、学年・クラス・教科等の組織的な対応を依頼する。 ③(4)長期延滞者に対しては、丁寧な粘り強い指導をして改善を図り、継続的な貸出につなげる。				
2 生徒が新聞記事を読み活用するきっかけづくりをする。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①アンケートで「新聞を読み活用することは有意義であると思う。」と答えた生徒が60%以上である。 ②図書委員の協力を得て、気になる新聞記事や注目の新聞記事を月1～2回は展示する。 ③授業の中での新聞記事の活用をお手伝いし、学期に1回以上活用する。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	①新聞を読み活用しやすい図書館内の環境を整える。 ②図書委員の活動の一つとして、図書委員が選んだ新聞記事を、関連する本や資料とともに展示する。 ③新聞活用を推進し、新聞感想文を書く期間には特に、切り抜き可能な新聞を図書館に置く。				

カ 生徒課

* 総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価	学校関係者評価	次年度への課題と方策
1 生活習慣の確立を図り、健全な生活態度を育成する	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①頭髪・服装の違反者を減少させ、再点検指導生徒の割合が1.0%以内である。 ②遅刻者の数が、昨年度より5.0%減少した。 ③教員による登校指導を月1回、生徒による「あいさつ		(評定)	

	運動」を学期に1回実施する。		(所見)		
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①月初めのクラス単位の服装頭髪点検、学期初めの学年一斉指導を実施する。常日頃から清潔感のある制服の着こなしができるように、学年団と連携・協力をしながら常時指導を徹底する。 ②遅刻指導週間を実施するとともに、多遅刻生徒の指導を徹底する。 ③生徒会や生活委員と協力しながら自発的な挨拶を喚起する。				
2 交通ルールを遵守させ、安全意識の向上を図る。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①自転車交通事故数が10件以下である。(昨年度17件)		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	①登校指導を月1回以上、徳島北署やPTAとの合同指導を年3回実施する。 ②交通事故の状況について、職員・生徒・保護者の共通理解が図れるよう、情報を提供する。 ③交通安全講話を実施する。				
3 携帯電話の安全な使い方を通して、情報モラルの育成を図る。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①携帯電話の安全な使い方についての講演会を年1回以上実施する。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	①各関係機関と連携し、携帯電話安全教室を行い、情報社会におけるモラルを身につけさせる。 ②「人権教育ホームルーム活動」や「情報」の授業においても情報モラル教育を推進する。				

キ 人権教育課

* 総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価	学校関係者評価	次年度への課題と方策
1 ホームルーム活動（人権）の他、委員活動や日々の活動など様々な機会をとらえて生徒の人権意識の高揚を図り、啓発活動に努める。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①「人権意識が高まった」と答えた生徒の割合が80%以上である。 ②「人権委員会だより」を読んでいる生徒の割合が60%以上である。		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①ホームルーム活動（人権）や行事等で、自分の意見を発言し、他人の意見もしっかり聞くことができるなど、生徒に主体的に参加・体験をさせる。 ②「人権委員会だより」を生徒主体で作成し、ホームルーム活動などを利用して、人権委員に朗読させるなど生徒主体の活動を実施する。			
2 全職員でいじめ防止をはじめとする人権教育の充実に取り組む。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①「いじめは人間として許されない」と100%の生徒が認		(評定)	

	識している。 ②「学校は好ましい人間関係の構築のため行事やホームルーム活動・授業に真剣に取り組んでいる」と答えた生徒の割合が90%以上である。				
	活動計画	活動計画の実施状況		(所見)	
	①教育活動全体を通じて、お互いの人格を尊重し合える校内環境をつくるため、ワークショップや講演会などを実施する。 ②生徒の日常の言動と行動に注意を払い不適切な場合は指導する。また、生徒一人一人を尊重し、面談等を実施し、いじめ防止に取り組む。				

ク 特別活動課

* 総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評 価	学校関係者評価	次年度への課題と方策
1 学校行事（学校祭・球技大会等）の活性化を通して、生徒の自主的・自律的な行動を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①学校評価アンケートにおいて、生徒一人一人が自己実現の場として学校行事を位置付け、「自主的・積極的に取り組むことができた」と回答した生徒の割合が80%以上である。 ②学校評価アンケートにおいて、「学校行事や生徒会行事には、生徒の意見が取り入れられている」と回答した生徒の割合が80%以上である。		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①生徒会役員が中心となり各行事計画をたて、全校生徒が自己の役割や責任を自覚し、取り組む態度を育てる。 ②各行事の事前・事後にアンケートを実施し、生徒自身に自らの取組についての状況を把握させ、今後の活動に生かせるようにする。			
2 ホームルームや部活動における友好的な人間関係の構築を中心に、豊かな心を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①学校評価アンケートにおいて「あなたは、学校行事や部活動に友人や仲間と協力して取り組み、友好的な人間関係を築くことができた」と回答した生徒の割合が80%以上である。 ②教員及び保護者において、生徒が「望ましい人間関係を構築できている」と回答した割合が80%以上である。		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①各ホームルームでの人間関係や生徒会や部活動での学年の枠を超えた人間関係を構築し、豊かな心を育成する。 ②ホームルーム担任や部活動顧問という立場で生徒の人間関係をよく観察し、適切な方向に導くようにする。			
3 部活動の活性化を通して、生徒一人一人の個性や創造性を伸長させ、何事にも積極的に取り組む態度を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①引き続き年度当初の部活動参加率が全体生徒の80%以上である。 ②学校評価において、「部活動は、学校生活を充実させるものとなっている」と回答した生徒の割合が80%以上である。また、保護者や教員の回答においても、80%以上である。		(評定)	
			(所見)	

	活動計画	活動計画の実施状況			
	①新入生対象の部活動紹介を充実させる。 ②部活動の活動時間を遵守し、各部で学業との両立が実現できるよう工夫する。				
4 国際的視野を持ち、国際社会や地域社会に貢献する姿勢を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①地球市民講座において事後アンケートを行い「国際的視野を持つことができた」と回答した生徒の割合が80%以上である。 ②生徒会主催行事あるいは部活動において地域や社会貢献に通じる活動を年3回計画する。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	①充実した地球市民講座の内容を精選し計画する。 ②生徒会やJRC・ボランティア部などでさらにボランティア活動に積極的に取り組む。 とくしまマラソンのボランティア参加についても継続する。				

ケ 進路課

* 総合評価：目標を大きく達成…A, 概ね目標を達成…B, 目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価	学校関係者評価	次年度への課題と方策
1 主体的な学習習慣と確かな学力の育成を図る。 (1) 家庭学習の習慣化を図る。 (2) 確かな学力を身につけさせる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①家庭学習（塾等での学習を含む）1時間以上の生徒が、90%以上である。また、各学年で平均家庭学習（塾等での学習を含む）「(学年) + 2」時間以上の生徒が50%以上である。 ②「午後9時までに家庭学習を始める」習慣が身につけている生徒の割合が70%以上である。 ③「学校の授業内容を理解している」と回答した生徒の割合が80%以上である。 ④1、2年生の学年単位で、補習の出席率が95%以上である。 ⑤校外模試における各科目の平均点について、校内平均点が全国平均点以上である。 ⑥教員の教科指導研修会への参加率を高め、情報の共有・提供を拡充する。		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①進路説明会等で、家庭学習の現状とその重要性を保護者に十分理解してもらい、協力を要請する。 ②生活学習記録表や生活実態調査を通して、現状の把握に努める。家庭学習が1時間未満の生徒には、保護者と連携しながらホームルーム担任が面談を実施し、原因の解明と改善を図る。 ③「予習」「授業」「復習」の学習スタイルを確立させ、課題や確認テストを実施し、授業内容の理解、定着を図らせる。 ④補習に参加することの重要性を繰り返し指導する。遅刻・欠席が目立つ生徒には、ホームルーム担任、学年主任と連携し、段階的に指導を行う。 ⑤校外模試実施後に訂正ノートを提出させるなど、間違えた箇所の見直しをさせる。教科会で模試の検討を行い対策を練る。			

	⑥校外における教科指導研修会の情報を周知し、事後は教科会と資料の閲覧を通して情報の共有化を行う。				
2 自己のキャリア形成を推進し、早期に進路目標を設定させ、主体的に自分の進路を決定させる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①1、2年次にオープンキャンパスや看護体験、大学の講座、または体験授業等の活動に1回以上参加した生徒の割合が100%である。 ②ポートフォリオを利用し、校内外での活動の振り返りを行う生徒の割合が100%である。 ③2年生の11月末の進路調査で、「進路目標が明確になっている」と回答した生徒の割合が95%以上である。 ④英語外部検定試験への対応として、2年終了までに英語の資格試験やアセスメントを受験した生徒の割合が100%である。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	①あらゆる機会を通じて、「将来の自分の生き方」を考えさせるとともに、体験的活動の情報提供に努め、2年生終了までには必ず1回は参加させる。 ②ポートフォリオの意義とその利用方法を周知し、振り返りと記録を徹底させる。 ③生徒や保護者に進路情報を提供し、各自の進路目標を設定させ、その実現に向けて主体的に学習する態度を育成する。また、「若楠」や「進路ニュース」を活用し、進路意識の高揚を図る。 ④英語外部検定試験の重要性を教科や学年と協力して生徒に周知し、受験機会を確保して、積極的な取組を促す。				
3 社会に貢献できる人材の育成に向けて生徒の個性や創造力を伸長させ、進路希望を実現させる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①就職ガイダンスや公務員セミナーなどの体験的活動を通して、主体的に自ら考える力を育て、就職を希望する生徒全員が、希望する進路を実現できている。 ②就職希望者や保護者と定期的に面談を行い、2学期末までに就職未決定者0名を実現できている。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	①望ましい職業観・勤労観の育成に向け、職業別説明会(1年)、公務員セミナー、就職ガイダンス(2年、3年)等の体験活動により、職業理解や働く意義を学ばせる。 ②卒業後就職したい仕事を自らが見つけ、その目標に向け、継続的に努力し、自主的な行動力が身に付くように導く。 ③企業就職希望者と早い時期から面談を重ね、希望の業種や職種を絞り込み、希望する企業から求人を得られるよう、精力的に職場開拓を行う。 ④公務員希望者には、公務員試験対策の専門家を学校に招いて講習会を実施し、社会性の確立を目指す。 ⑤就職・公務員模試を年間6回実施し、進路を実現する確かな学力の向上を図る。				

コ 環境・防災課

*総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標(と活動計画)	評価	学校関係者評価	次年度への課題と方策
1 SDGsへの理解を深め、	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	

校外の環境美化及び環境問題に取り組む態度と実践力を育成する。	①節電・節水を意識した学校生活を送り、前年度比3%使用量を節減する。 ②年間3回以上「ゴミゼロの日」を設定し、学校全体で環境問題について考えさせるとともに環境・防災委員以外の個人参加者が毎回60人以上である。 ③校外で行われる環境美化及び環境問題に取り組むボランティア事業への参加を呼びかけ、年間で15名以上の参加者を募る。 ④アンケートで「日々の清掃に熱心に取り組み、ゴミの分別を心がけるなど校内美化に協力している」と回答した生徒の割合が85%以上である。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	①掲示物や環境・防災委員からの声かけ等により、トイレでの日中の節電や移動教室時の消灯、節水の徹底を呼びかける。 ②校内及び学校周辺、勝瑞駅等の清掃ボランティア活動を、環境・防災委員や部活動生徒が中心となって積極的に行う。 ③積極的な案内を行い参加を募る。またその時の感想や体験談を各クラスに知らせる。 ④総合的な学習（探究）の時間で、SDGsへの関心を高めるとともに知識を深め、身近な環境問題に取り組みさせる。				
2 防災教育を推進し、身近に潜む危険から自らを守るのみならず、災害発生時及び事後に、進んで他の人々や地域の安全に役立つことができる人材を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①地震・津波及び地震・火災対応避難訓練を、それぞれ年1回早期に実施する。 ②環境・防災委員に啓発放送を行わせて、防災に対する意識を高める。 ③校外で行われる防災関係の行事を案内し、15名以上の参加者である。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	学校行事やホームルーム活動の時間を利用し、専門家の講演やDVD等の防災教材により、様々な危険や災害に、自主的に対応できるよう防災意識の向上を図る。				

サ 保健・教育相談課

*総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		学校関係者評価	次年度への課題と方策
1 自分の心や体の健康に関心を持ち、課題解決に向けて実践できる生徒を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①学校評価アンケートにおける「あなたは、自分の心やからだの健康に関心を持ち、健康な生活を送るよう心がけている」に「あてはまる」と回答した生徒の割合が85%以上である。 ②学校評価アンケートにおける「学校は生徒の安全や健康管理に十分注意している」及び「学校では健康や安全に配慮した指導が行われている」について、「あてはまる」と回答した生徒及び保護者の割合が85%以上である。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①生徒保健委員会において生徒の自主的な活動を推進し、学校全体の生徒の保健意識の向上や啓発を図るため				

	<p>に、次の活動を行う。</p> <p>(7) 石けんの点検・補充</p> <p>(4) 文化祭で健康意識の啓発展示</p> <p>(4) 保健ホームルーム活動</p> <p>(1) 保健だよりのポイント説明・配布</p> <p>②生徒の心身の健康管理及び保健指導の充実を図るために、次の活動を行う。</p> <p>(7) 保健だよりを年間10回以上発行する。</p> <p>(4) 応急処置を適切に行うとともに、担任や特別活動課、保健体育科等との連携をさらに密にする。</p>				
2 生徒が心身ともにはつらつとした学校生活を送れるよう支援する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①カウンセリングデーで、教員の相談室待機が100%である。		(評定)		
	②不登校傾向にある生徒や気になる生徒の把握をして、カウンセリングの実施等の適切な支援を図る。		(所見)		
	③不適応の症状が見受けられる生徒の把握に努め、早い段階で校内の関係者との連携を図る。				
活動計画	活動計画の実施状況				
	<p>④人間関係づくりワークショップの実施後のアンケートで「有意義であった」と答えた割合が85%以上である。</p> <p>⑤特別支援教育の取組を保護者に説明する機会を持つ。</p> <p>①カウンセリングデーの広報をする。</p> <p>②(7) 課内会議やケース会議を随時開催する。</p> <p>②(4) 必要に応じてスクールカウンセラーや関係機関との連携を図る。</p> <p>③担任・学年団や人権教育課からの情報収集に努め、共通理解を図り、生徒の支援をする。</p> <p>④人権教育課と協力して、人間関係づくりワークショップの有意義な実施に努める。</p> <p>⑤PTA総会等の機会を利用して保護者に説明する機会を年2回以上持つ。</p>				
3 生徒が充実した学校生活を送れるよう支援する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①食堂の営業やパン販売の連絡を100%正確に行い、マナーを守って利用できる。		(評定)		
	②セミナーハウスの使用について、正しく利用できた割合が90%以上である。				
	③奨学金の事務処理を正確に行い、奨学金を申請する生徒の100%が正しく申し込み、進路実現に繋がれるようにする。				
活動計画	活動計画の実施状況				
	<p>④福祉的な募金活動に年2回以上協力する。</p> <p>①営業日やメニューの教室掲示を適切に行う。</p> <p>②(7) 定期的に点検を行い、厚生委員による大掃除を年2回実施する。</p> <p>②(4) 「利用心得」を掲示することで、使用の際のマナーの向上を図る。</p> <p>②(4) チェックリストを点検時に活用する。</p> <p>③(7) 奨学金の情報提供や連絡を正確に行う。</p> <p>③(4) 個人情報の含まれる書類の取り扱いに十分注意を払う。</p> <p>③(4) 申請書類を複数体制でチェックする。</p> <p>④厚生委員の活動として計画する。</p>				